

にゅうようじきょういくそうだんつうしん

ひなたぼっこ



5 葛盲第708号
令和5年9月26日
乳幼児教育相談通信第2号
東京都立葛飾盲学校長
岩下 桂郎

日頃より、本校の教育活動に御理解いただきまして、ありがとうございます。

9月より2学期の乳幼児教育相談の活動を開始しておりますが、お便りの発行が遅れましたこと、お詫び申し上げます。御希望の方は、裏面の今後の予定を参考に、相談、参加を御検討ください。

なお、今号では、幼少期のお子さんのイメージを育てる工夫についてに記事させていただきます。御来校の折には、具体的な紹介もしていきたいと思っております。

(文責：丹羽弘子)

お子さんのイメージを豊かに育てるために ～お話を聞くこと・ごっこ遊び～

〈お話の読み聞かせ・・・同年代のお子さんと同じように〉

小学校の弱視学級の担任をしていた頃のことです。学級のお子さんの中に「ももたろう」など、多くの子供が一度は触れているようなとてもメジャーなお話を知らない、というお子さんがいました。保育園や幼稚園での読み聞かせの時間に、よく分からないまま時間が過ぎてしまったのかもしれませんが。あるいは「ハンディーがあるからこそ、早く文字を覚えて、早く道具の使い方も身に付けて」という具合に、保護者の方が、小学校に上がるための準備に重きをおいて幼児期を過ごしていたのかもしれませんが。

「お話を聞く」ということは、自分の生活以外の事象に関心を広げることにつながっていきます。お話の中の因果関係より正誤の規範を学んだり、人の心の動きを知ることができたりします。是非、同年代のお子さんと同じように、お話をたくさん聞かせてあげて、お子さんのイメージを豊かに育ててください。

〈お話を聞かせる・・・こんな方法も〉

保護者の方が読み聞かせる、ということの他に、お話CDやインターネットの活用も有効だと思います。

インターネットで「NHK for school」を検索すると、「おはなしのくに」「こどもにんぎょう劇場セレクション」などで、小さいお子さんにわかりやすい映像や語りが出てきます。好きな音楽の合間に、お話を聞かせてみる、という工夫を取り入れてみてはいかがでしょうか。

見えにくいお子さんが絵本などの本に興味をもつ様子が見られたら、絵や文字を見て楽しむ機会も与えてあげてください。

〈ごっこ遊びで、イメージを育てる〉

読み聞かせ以外にも、「イメージ」を育てる遊びとして、「ごっこ遊び」があります。

例えば、おままごと。おままごとは、お家での生活が想起しやすいので、男の子も女の子も好きなお子さんが多いです。遊びの中には、お料理、お洗濯などの段取りや、作る人と食べる人などの役割が含まれており、子供は、自然にイメージを膨らませていきます。

また、ブロック遊びもイメージ作りに最適です。ブロックで高いビルを作りながら、お子さんは高低・広狭などの空間に関する概念に触れていきます。ブロックでお家や街を作って「おうちごっこ」「まちたんけん」などをするこ
ともあるでしょう。その中には想像のボクがいて、まっすぐ歩いてお隣には〇〇、右に曲がって△△などに見立て
て遊びます。その積み重ねて、頭の中に地図を描く力の基礎が自然に身についていくのです。

ブロックと同じように空間のイメージ作りにつながるものとして、2階建てのドールハウスのような遊びもいい
と思います。見えない・見えにくいお子さんにとって、自分のいる階とその上階との位置関係は分かりにくいもの
です。1階・2階の上下空間のある「おうちごっこ」で、そのような空間のイメージも培えるといいのではないかと
思います。

育児教室、幼稚部行事などの予定

期日	曜日	行事名	場所	内容
9月13日	水	第2回 学校公開	本校舎及び寄宿舍	※ 御参加ありがとうございました。
9月20日	水	第2回 育児教室	幼稚部リズム室	「先輩保護者の経験談より育児を考える」 話題提供者： 本校小学部保護者 黒澤知行さん ※ 御参加ありがとうございました。
9月27日	水	幼稚部 秋の遠足	あらかわ遊園	※ 御参加ありがとうございました。

グループ相談の予定



期日	曜日	内容	場所	ひとこと
10月4日	水			(学校の都合でお休みです。)
10月11日	水	体育館 あそび	体育館	広い空間で心地よく体を動かしましょう。
10月18日	水	砂あそび	幼稚部前庭	外気を浴びながら砂の感触を味わってみましょう。 ※天候により変更することがあります。
10月25日	水			(学校の都合でお休みです。)
11月1日	水	かつもう 動物園	小学部教室	小動物との触れ合いを楽しみましょう。 (お子さんのアレルギー等に御留意ください。)
11月8日	水			(学校の都合でお休みです。)



【連絡先】 東京都立葛飾盲学校 tel: 03-3604-6435 fax: 03-3602-9096

担当: 丹羽 (にわ) 弘子